



皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も千葉信用金庫の考え方や経営方針ならびに業績などを皆様にご理解いただくため、第102期ディスクロージャー誌を作成いたしました。

本誌を通じて千葉信用金庫に対する一層のご信頼を賜ることができましたら幸いに存じます。

令和6年度の日本経済は、一時停滞感を強めたものの回復基調を維持し、日経平均株価は史上最高値を更新、インバウンド需要の拡大で訪日外客数が過去最高を更新するなど前向きな動きが見られました。一方で、円安や人手不足、海外経済の減速などの影響で地域経済にとって厳しい状況も見られました。

この様な状況下、私どもは10年後の当金庫が目指すべき姿を描いた「千葉信用金庫ビジョン」の実現に向けた最終計画として策定した第8次中期経営計画の初年度として「顧客基盤の拡充」「人材力の強化」「リスク管理態

勢の強化」の3つの柱を掲げ、地域社会やお客様の「ベストパートナー金融機関」となるべく、役職員一丸となって取り組みました。

昨年6月、当金庫は創立100周年を迎えました。これもひとえに、会員様をはじめとする地域の皆様からの温かいご支援とご愛顧の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。

次の100年に向けて、令和7年度は新たなスタートの年度となります。今後もお客様への感謝の気持ちを忘れずに、課題解決活動や金融支援等をご提供するとともに、地域のお客様にとって利便性の高い金融サービスを提供することで、これまで以上に地域の皆様との絆を深めながら、地域社会にとってなくてはならない「ベストパートナー金融機関」を目指していく所存です。

末筆ではございますが、皆様の一層のご発展を心より御祈念申し上げますとともに、倍旧のご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

令和7年7月

理事長

宮澤 英男